

目次

第一部

成長・競争社会と〈居場所〉—問題提起	片山 善博	4
I 現場から〈居場所〉を問う		
〈居場所〉そして〈持ち場〉—高齢化と人口減の町で考えた	玄田 有史	8
「居場所」の喪失と回復—「いのちの電話」活動の経験から	種村 完司	15
子どもの居場所づくりをどう進めるか	降旗 信一	21
—3.11以後の環境教育・自然体験学習論を踏まえて		
原発事故被災者として「居場所」について考える	荒木田 岳	30
II 現代〈居場所〉考—哲学・社会思想の視座から		
〈居場所がない〉ということ承認をめぐる闘争と病	太田 明	33
「居場所」と「社会で生きる権利」	藤谷 秀	48
障がい児者を巡る受容と排除—生存権理解と関わって	竹内 章郎	54
III 脱成長による持続可能な社会へ		
政治的エコロジーと「もうひとつのグローバリゼーション」	北見 秀司	60
—脱成長と〈居場所〉の創出のために		
ノーマリズム（正常化志向）と成長の危機，そしてサステナ	ユルゲン・リンク	72
ビリティ（持続可能性）の二重の意味について	（真鍋 正紀訳）	

第二部

巻頭論文

総合人間学の課題と方法—ヒトの中のサルとサルの中のヒト	木村 光伸	86
-----------------------------	-------	----

論壇エッセイ

地球環境問題と人工知能，そして宗教	木村 武史	98
脳科学の進展は，どのようにわれわれの言語観を変えたか？ 一言語生得説から脳の外部記号説へ	武田 一博	103

一般研究論文

E・F・シューマッハーの現代経済学批判と「超経済学」の構想	三浦 永光	117
メディアとしての3Dプリンター世俗的造物主か受苦する人間か	吉田 健彦	128
年長少年に対する死刑	菅原 由香	140
民主主義の発生源としての「政治的徳」—ダグラス・ラミス『ラ ディカル・デモクラシー』から見えるもの	高橋 在也	151

第9回研究大会若手シンポジウム報告：現代社会における子どもと環境のあり方

越境と再統合	高橋 在也	163
—現代社会における子どもの問題をめぐる四報告からの示唆		
法的視点からみた親子関係の変化	菅原 由香	168
子育てをめぐる生活空間の諸問題を考える	浦田（東方） 沙由理	176
—空間が強いる社会的規範という角度から		
子育ての経験を共有する意義に関する一考察	七星 純子	186
「子どもを育てる」ことに関する〈通時性の倫理〉の現代的意義	増田 敬祐	195
—環境倫理学における「世代間倫理」の一考察として		

会員による著書紹介		205
『総合人間学』バックナンバー		207
学会会則		211
投稿規定・執筆要綱		214

あとがき	宮坂 瑠子	220
------	-------	-----